

できることから 始めてみよう

2050年カーボンニュートラルの実現には個人・事業者・行政それぞれの分野での取り組みが必要です。まずは身近なことから始めてみませんか。

家庭部門

それぞれの家庭で取り組むことにより、大きな効果となります。二酸化炭素排出量削減効果だけでなく、出費の節約にもなります。

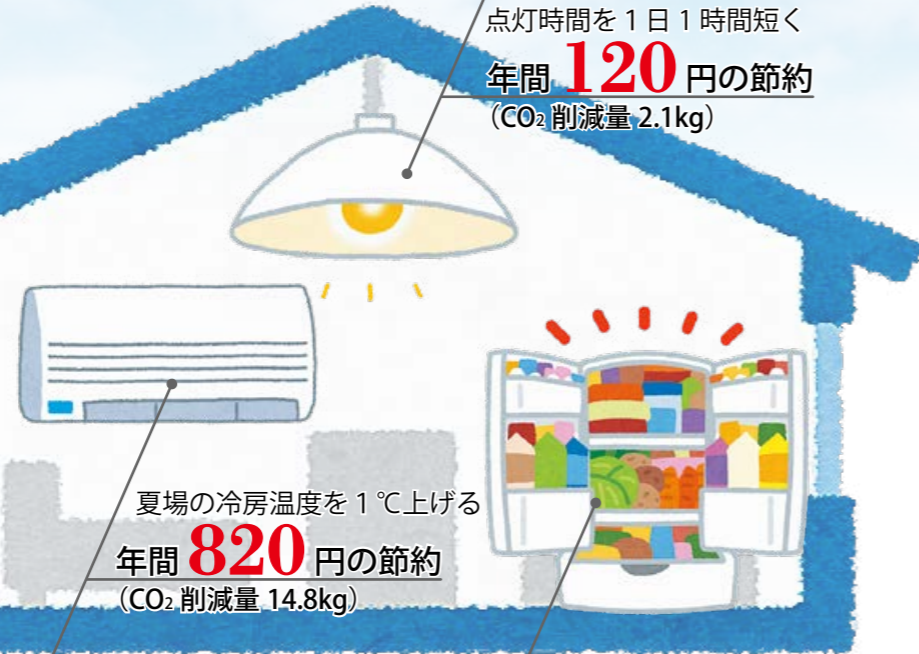
急加速の抑制
年間 **11,950** 円の節約
(CO₂削減量 194.0kg)

アイドリングストップ
年間 **2,480** 円の節約
(CO₂削減量 40.2kg)



電球型LEDランプへの取り換え
年間 **2,430** 円の節約
(CO₂削減量 43.9kg)

点灯時間を1日1時間短く
年間 **120** 円の節約
(CO₂削減量 2.1kg)



夏場の冷房温度を1℃上げる
年間 **820** 円の節約
(CO₂削減量 14.8kg)

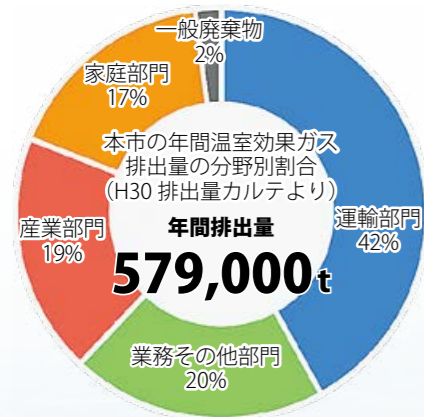
冬場の暖房温度を1℃下げる
年間 **1,430** 円の節約
(CO₂削減量 25.9kg)

冷蔵庫の中身を半分に
年間 **1,180** 円の節約
(CO₂削減量 21.4kg)

家庭でできるその他の取り組み

内容	節約(円)	CO ₂ 削減量(kg)
テレビの視聴時間を1日1時間短く	450	8.2
給湯器の設定温度を40℃から38℃へ	1,430	19.7
シャワー(45℃)の時間を1分間短く	3,210	28.7
未使用時の温水洗浄便座のフタを閉める	940	17.0

出典：資源エネルギー庁



産業部門

本市の各産業別の排出量では、農林水産業が6万1千t、製造業が4万2千t、建設・鉱業が7千tとなっています。各業種で適切に取り組む必要があります。

- 再生可能エネルギーの導入
- 営農型太陽光発電などの農業部門の再エネ推進
- 森林等の適切な管理

業務その他部門

各事業所でのクールビズ・ウォームビズの実施や、エネルギー効率の良い設備の導入などを行うことによって温室効果ガス排出量の削減につながります。

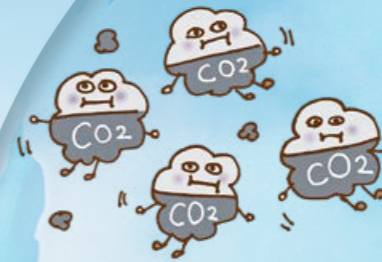
- 「COOL CHOICE」の推進
 - ・クールビズ、ウォームビズの推進
 - ・高効率な照明や公共交通機関の利用
- 建築物の省エネ性能向上

運輸部門

本市の温室効果ガス排出量の分野別割合で最も大きいものは、自動車からの排気ガスによる排出が含まれる運輸部門です。

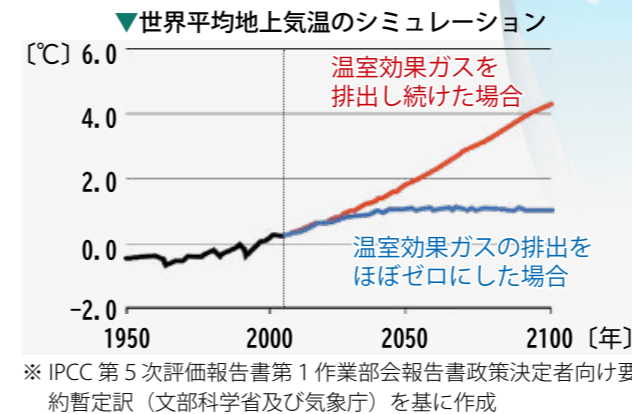
- ゼロカーボン・ドライブの普及
(電気自動車等の採用、エネルギー充電施設の設置)
- 公共交通機関の利用

ゼロカーボンシティ かのや を目指して



気候変動の原因となっている温室効果ガスを削減するには、誰もが無関係ではなくあらゆる人が取り組む必要があります。将来の世代が安心して暮らせる持続可能な社会をつくるため、私たちができる取り組みを紹介します。

市生活環境課 Tel 0994-31-1115



地球温暖化と 気象災害の発生

世界の平均気温は工業化以前(1850~1900年)と比べて、約1℃上昇しており、近年では国内外で様々な気象災害が発生。これらの原因の一つと言われている二酸化炭素などの温室効果ガスは、私たちの経済活動や日常生活で排出されています。

これ以上の気温上昇に歯止めをかけるためには、カーボンニュートラル(脱炭素)社会の実現に向けて取り組んでいかなくてはなりません。

カーボンニュートラル とは

2015年にパリ協定が採択され、世界共通の目標として①平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃未満とする②温室効果ガスの排出量と、吸収による除去量とのプラスマイナスゼロの2つが掲げられました。これを受けて国は、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラルを目指すことを宣言(2020年10月)。「全体としてゼロ」とは、人間の活動によって排出される二酸化炭素の量を、森林などが吸収する量以下にするという取り組みです。

ゼロカーボンシティ かのやを宣言

本市も二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの削減などの環境施策を実施してきましたが、脱炭素社会に向けた取り組みをさらに推進するため、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目標とした「ゼロカーボンシティかのや」の宣言を2月21日に行いました。

「ゼロカーボンシティかのや」
恵み豊かな自然環境を未来の子どもたちに引き継ぐために、私たちは、地球温暖化が原因とみられる気候変動の影響により、世界各地で発生する猛暑や豪雨などから、人々の生命や財産を守るため、国際社会の一員として、地球温暖化対策を共に講じる必要があります。

また、私たちが暮らす鹿屋市は、日本の自然百選にも選ばれた照葉樹林を含む壮大な高隈山系や神代三山陵の一つ吾平山上陵を有する山林地帯が連なるなど、温暖な気候や豊かな自然環境に恵まれており、これらを未来の子どもたちに引き継ぐ必要があります。

よって、本市も2050年までに本市の二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティかのや」を目指し、市民、事業者、行政が一体となって、脱炭素社会の実現に向けて取り組んでいくことを、ここに宣言します。